



中北小学校 学校だより

そ っ た く き

啐啄の機 NO. 8

令和2年10月27日(火)

上天草市立中北小学校

文責：横山

一人一人が輝いた、「感動の運動会！」

10月4日(日)は薄曇りの絶好の運動会日和でした。この日「最後まであきらめずに協力し みんなでがんばる運動会」のスローガンのもと、令和2年度の運動会が行われました。

子ども達の「必死に」「ひたむきに」「夢中に」なって競技や演技に取り組む姿は、「感動」の連続でした。改めて「全力」で取り組む姿は美しい、「一生懸命」取り組む姿は誰の心にも感動を与えるのだなと思いました。



さて、今年の運動会は新型コロナウイルス感染拡大の中での開催となりました。色々な行事が中止や縮小される中、開催にいたるまでには、どのような運動会にするか、何度も話し合いました。そこで出した結論は「感染拡大防止のため午前中開催とするが、子どもの競技・演技は全て実施する」ということでした。そこには、「行事を通して、子ども達を伸ばす」という職員の思いがありました。運動会という行事のもつ教育効果を最大限に発揮するために、これまでの慣例にとらわれず、柔軟にアイデアを出し合いながら、臨機応変に取り組むということでした。

子ども達は当日まで、何度も全体練習や学年練習を積み重ねてきました。最初は注意されたり、できなかつたりしたこともありましたが、練習のたびにどんどんよくなっていきました。その過程ではつらいことや、くやしいこともあったかと思えます。しかし、それを乗り越えることで大きく成長し、当日は全力で取り組むすばらしい姿を見せてくれました。低学年のダンス「紅蓮華」は今話題のアニメ「鬼滅の刃」の主題歌です。その「鬼滅の刃」の登場人物の台詞に次のようなものがあります。「心を燃やせ。歯をくいしばって前を向け！」正に、運動会での子ども達の一生懸命な姿は、きつい練習を乗り越えて本番を迎えた「心を燃やし、前を向く姿」でした。だからこそ、その姿は見ている人へ「感動」を与えることができたのでしょう。このような体験を通して味わった成就感や達成感が、さらに子ども達を大きく成長させるのだと思います。



今後も、子ども達がさらに成長できるよう、「全ては子どものために」を合言葉に、日々の教育活動に取り組んでいきます。

また、今年は短縮日程での開催となりました。短い時間ではありましたが、保護者の方からは「じっくりと子ども達の姿を観ることができた」や「短かった分、子ども達が集中して取り組んでおり感動した」等の感想もいただきました。これからは「ウィズ・コロナ時代」といわれています。これまでの常識にとらわれず、状況に合わせて、今だからできることに挑戦し、今できることを楽しむことが大事になってくるのだらうと思いました。

最後になりましたが、保護者の皆様には、前日の準備から当日の応援、後片付けまで大変お世話になりました。お陰様をもちまして、とてもすばらしい運動会となりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



授業参観お世話になりました

10月24日(土)は中北教育の日として、授業参観を行いました。2校時には熊本県教育委員会が作成した「熊本の心」を使った道徳の授業を、3校時は国語や算数などの授業を参観していただきました。本年度より、小学校では新しい学習指導要領が全面実施となっています。この新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」のある授業の実現が求められています。これは教師が一方向的に説明する受け身の授業ではなく、子ども同士が仲間との対話を通して課題を追究することで、知識や技能を身につけたり、思考力・判断力・表現力を高めたりする能動的な授業のことです。この日は机を「コの字型」にして、子ども同士が顔を見合わせて、互いの考えを「聴き合う姿」や、ペアやグループになって真剣に課題について「語り合う姿」をご覧いただけたのではないかと思います。これからもこの様な「子どもが学びに夢中になる授業」に取り組んでいきます。ご参観ありがとうございました。



すくすくタイム

10月13日(火)のすくすくタイムは健康委員会から「目の健康」についての発表がありました。まずは、「寝転んで本やテレビを見ていないか」や「長い時間ゲームやスマホをしていないか」など、「目のつかれ度チェック」がありました。その後、「どんぐりころころ」の歌に合わせて目の体操をみんなで行いました。健康委員会のメンバーが目の大切さをとても分かりやすく、上手に伝えてくれました。

